

合格体験記

1. はじめに

令和3年度の中小企業診断士2次試験に合格しましたK.E（30代）と申します。私は、2021年のMMCの講座を通期で受講いたしました。以下、私の中小企業診断士の受験歴です。

2020年度：1次試験合格・2次試験不合格 DABB/総合B

2021年度：1次試験未受験・2次試験合格 AAAA/総合A

2020年から勉強を始め、初年度は某通信講座と独学で臨み、1次試験は合格したものの、2次試験は不合格でした。正直受ける前から感覚で合格は難しいと分かっていたので、延期も考えたのですが、万が一を期待して受けた結果、やっぱり不合格でした。

2次試験は2回チャンスがあることを知っていたので、翌年絶対に合格するために予備校に通うことを考えました。色々とインターネットで情報を収集した結果、答練が多く、毎回答案のアドバイスが貰えることや少人数で合格率が高いという口コミに惹かれMMCに受講を決めました。

2. MMCを受講して良かった点

① 合格するための方針が明確

初年度は1次試験に合格してから2次試験の勉強を始めたのですが、それまで全く準備をしていなかったのをどうやって勉強していいかが全く分からなかったのですが、MMCでは、合格するための方針がはっきりしていて、やることとやらないことを自分の中でも割り切ることが出来ました。題意を捉え、型にキーワードを入れて因果で答えるということを、どの事例でも最初から最後まで一貫しているため、答練を繰り返すことで自然と身に着くようになりました。

② 無理のない現実的な回答を安定して書けるようになる

他の予備校を受けていないので比較は出来ませんが、MMCの解答はかなり受講生の受験レベルに合わせた内容だと思います。もちろん模範解答のレベルは高いのですが、私の解答に対しても「これでもいい」としっかり評価してもらえるため、自信を持って勉強することが出来ました。これまでの受験生の方の再現答案を見ても、なるべく与件文を使い、適切なキーワードを使うだけで実際に合格していることが分かり、余計な考えを捨て愚直に繰り返すことでかなり安定して解答が書けるようになりました。また、2021年度から始めたという記述講義も、講師の方が実際に解く様子をそのまま画面に出しているのが、80分でどのように解いていくのかとても参考になりました。

③ 少人数で講師との距離も近い

私は、主に平日の講義だったのですが、コロナの影響もあり参加者も少ないため、講師からの質問がバシバシ飛んでくるので、否が応でも授業に集中出来ました（笑）講義の前に事前に解いた答練の与件文や解説をしっかりと読むことが癖づいたと思います。また講師の皆さんもとても優しく、分からない問題に対しての解説はもちろん、講義後の質問や悩みに対してもとても丁寧に

答えてくれました。また試験勉強のコツなどもご自身が実践されていたことを教えていただきとても参考になりました。

3. 私の勉強方法

① ひたすら答練を復習

MMCはとても答練が多く、正直これだけやっておけば書く力はだいぶ付くと思います。私は、1つの答練を初回→復習→再現答案と次の答練までの間に3回解いてました。また、ある程度時間が経ったら再度復習を繰り返し、試験までの1年間はほぼ答練や模試を解くことに時間を使ってきました。初めにキーワードを覚えようと思ったのですが、答練を繰り返すことで自然に覚えるので、暗記に時間を割く必要はないかと思います。また、過去問もやりましたが、答練ほどは繰り返さなかったです。答練を繰り返すという意味で書き方を身体で覚えていくので、自信も付きます。ただし、試験はやはり答練と違い、解釈も難しいので、本番で慌てないためにも過去問もある程度やって身体を慣らしておく必要はあるかと思います。

② 事例Ⅳはできる限り毎日取り組む

事例Ⅳは、誤魔化しが効かないので、実力をつけるために毎日1問でも可能な限りは手をつけるようにしてました。MMCはGWの財務オプションの講座で問題集をもらえるのですが、これがボリュームも多く難易度も高いため、大変活用させていただきました。MMCは他にも財務のオプションを行なっているのですが、苦手な人はなるべく受けた方がいいかと思います。オプションを全部受けると答練と合わせて相当な問題数が集まるため、これだけ復習しておけばかなり実力は付くと思います。ただ、やはり試験は捻った出し方をするので、これも他の事例同様、過去問もある程度は手を付けておくと安心かと思います。

③ 手書きで解答する

私が、2次試験初年度に失敗したなと思ったうちの1つが、解答をPCでタイピングしていたことでした。1次試験が終わって時間もあまりなかったため、手書きで書いたのは、直前に受けた模試と本番だけだったのですが、手書きとタイピングでは時間配分の感覚が全く異なり、絶対にやめようと思いついて2年目は全て手書きにしました。とても面倒で手も疲れるしコピーもたくさん必要なのですが、それは時間とお金で解決できました。コピー機は家になければ買った方がいいです。MMCの解答をアップロードするにも使いますし。試験が始まるとまず最初に問題を破ったり段落ごとに線を区切ったりする方がいらっしゃいますが、そのようなルーティーンを日頃の勉強から癖つけておくと、本番でも安心して臨めます。

4. 最後に

ここまでとても合格者っぽいことを書いてますが、私自身、試験を終わった後は、正直落ちたと思ってました。特に事例Ⅲの切り分けが出来ず、同じキーワードを多用してなんとか誤魔化したのですが、終わった瞬間は絶望を感じて、今までの勉強の成果が発揮できなかったと悔やみました。ただ、MMCのキーワードを使って、与件の言葉をできる限り用いて、因果で答えることだけを意識して解答した結果、蓋を開けてみれば、MMCの採点でBAAA、得点开示の結果はAAAAでした。本番で見たことない問題でテンパっても、焦っていつもと違う解き方をするのはなく、今までのキーワードや解き方で十分対応できることは私自身が身をもって感じました。最後

に、徳川先生を始め中居先生、勝山先生、伊藤先生、中矢先生、西先生、長谷先生、MMCでの1年間本当にお世話になりました。最後まで面倒を見ていただき大変感謝しております。受験生の皆さん、どんなことがあっても最後まで自分を信じて頑張ってください！ありがとうございます。

以上